

2021年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2020年4月1日～2020年9月30日

株式会社マンドム
(証券コード 4917)



目次

1. 2021年3月期 第2四半期決算
 2. 2021年3月期 通期業績予想
- ◆ 参考資料

重要トピックス

通期業績予想 下方修正

- ・新型コロナウイルス影響の想定以上の拡大と長期化
 - ・営業利益 赤字の見通し

2021年3月期 第2四半期 Key Factor

- ・**新型コロナウイルスによる影響**
- ・**国内における夏シーズン品の低迷**

2021年3月期 第2四半期 決算サマリー

・売上高

計画と大きな乖離なし。

日本における夏シーズン品の不調に加え、国内外ともに新型コロナウイルスの影響が大きく、売上高はほぼ計画通りも前期比で大幅減収。

・利益

各段階利益は、計画に対し上振れ。

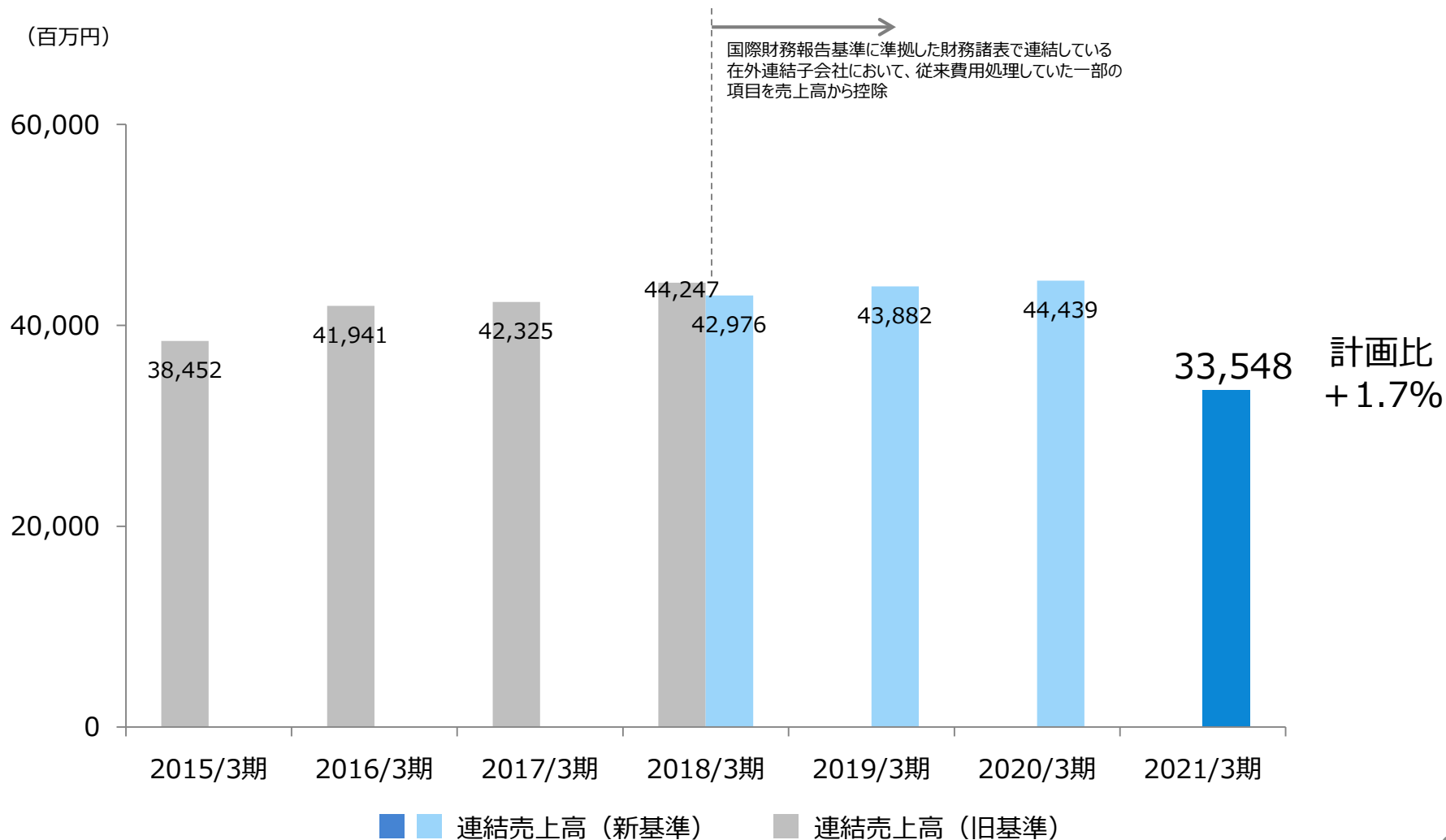
営業利益・経常利益は、減収の影響が大きかったものの、販売費の効率化と経費抑制により、対計画で上振れ。

当期利益は、有価証券売却益の計上もあり、大きく上振れ。前期比では大幅減益。

1. 2021年3月期 第2四半期決算

1. 2021年3月期 第2四半期決算

1) コロナ影響による大幅な減収減益

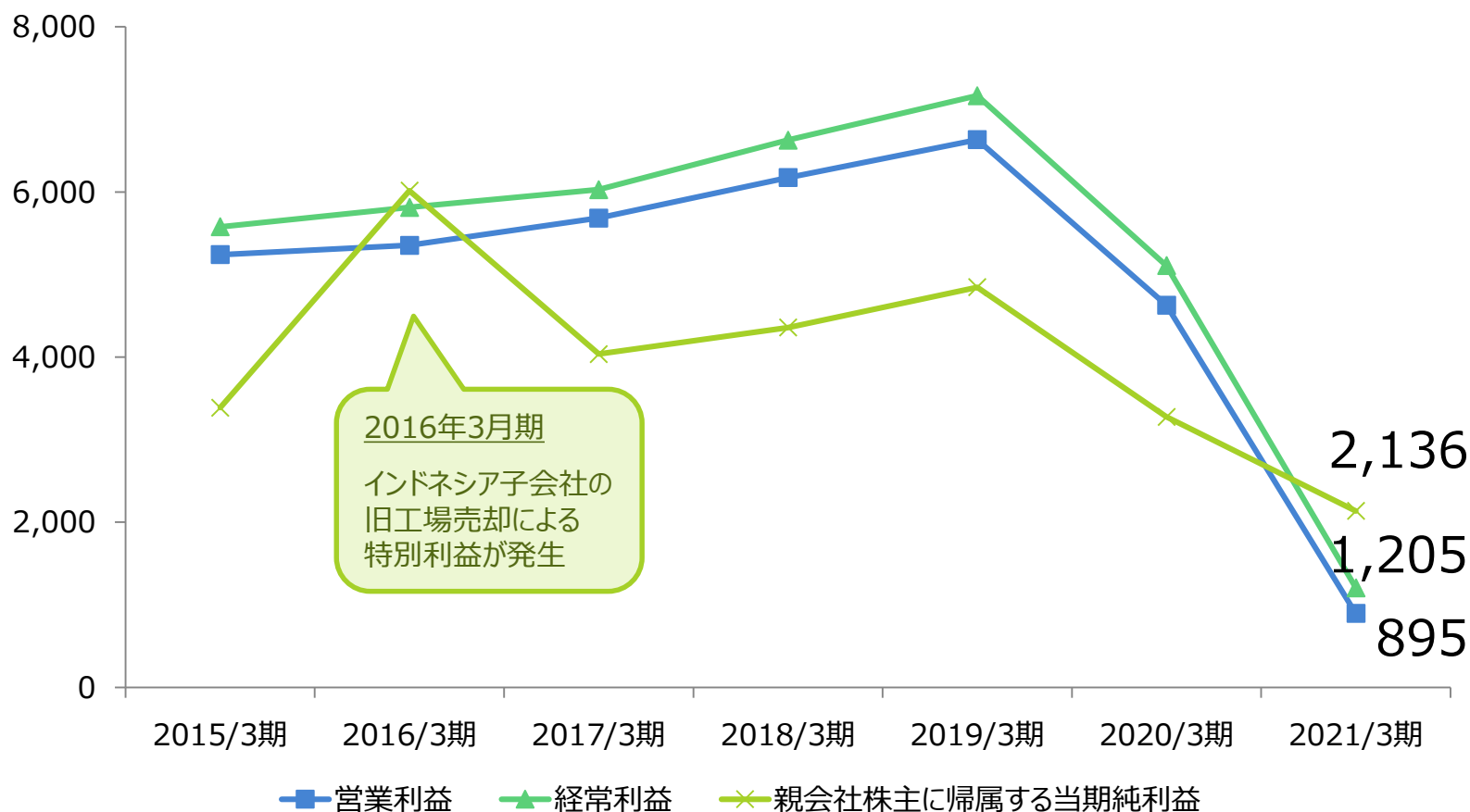


1. 2021年3月期 第2四半期決算

1) コロナ影響による大幅な減収減益

・当期利益は、有価証券売却により特別利益を計上

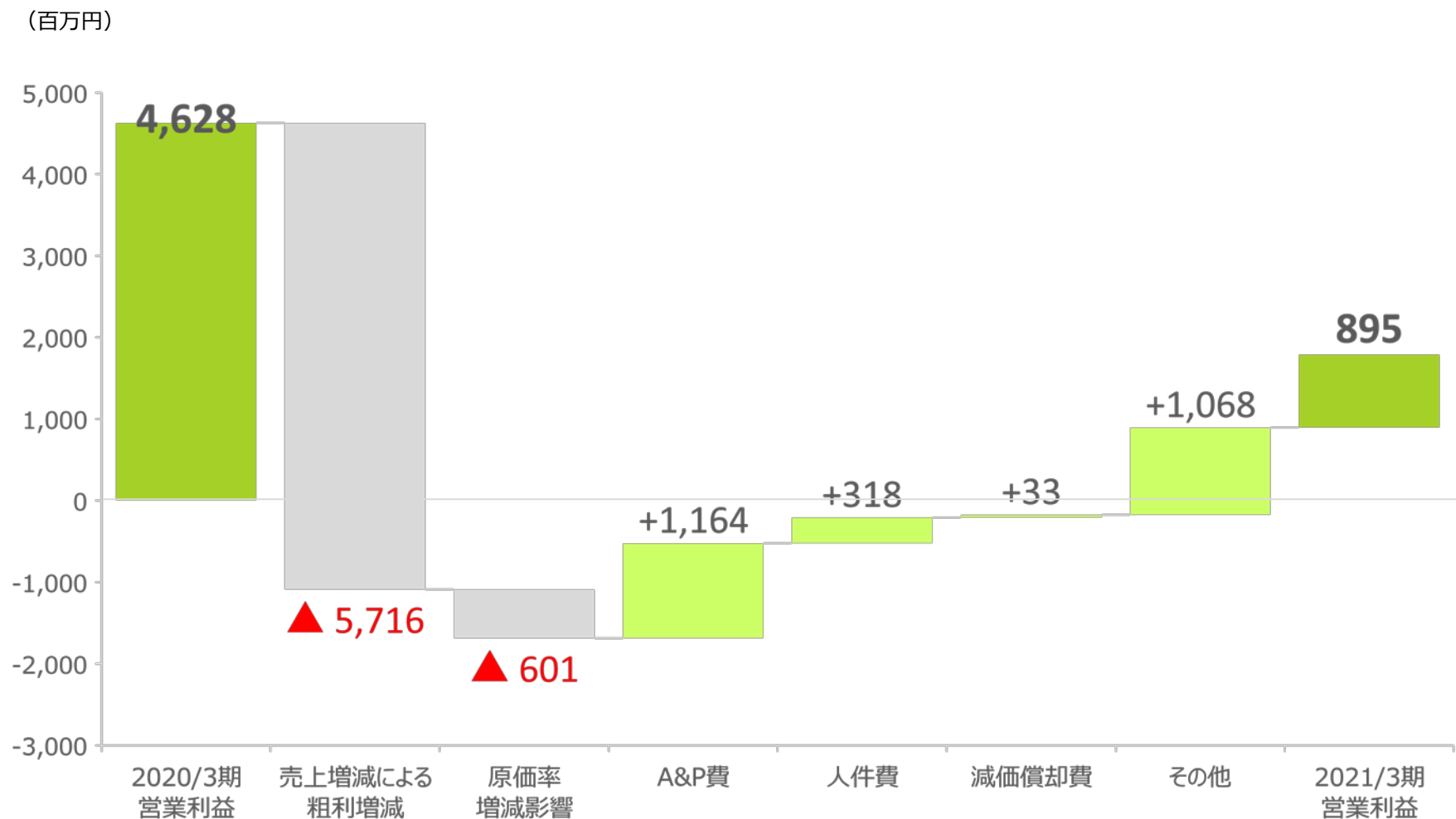
(百万円)



1. 2021年3月期 第2四半期決算

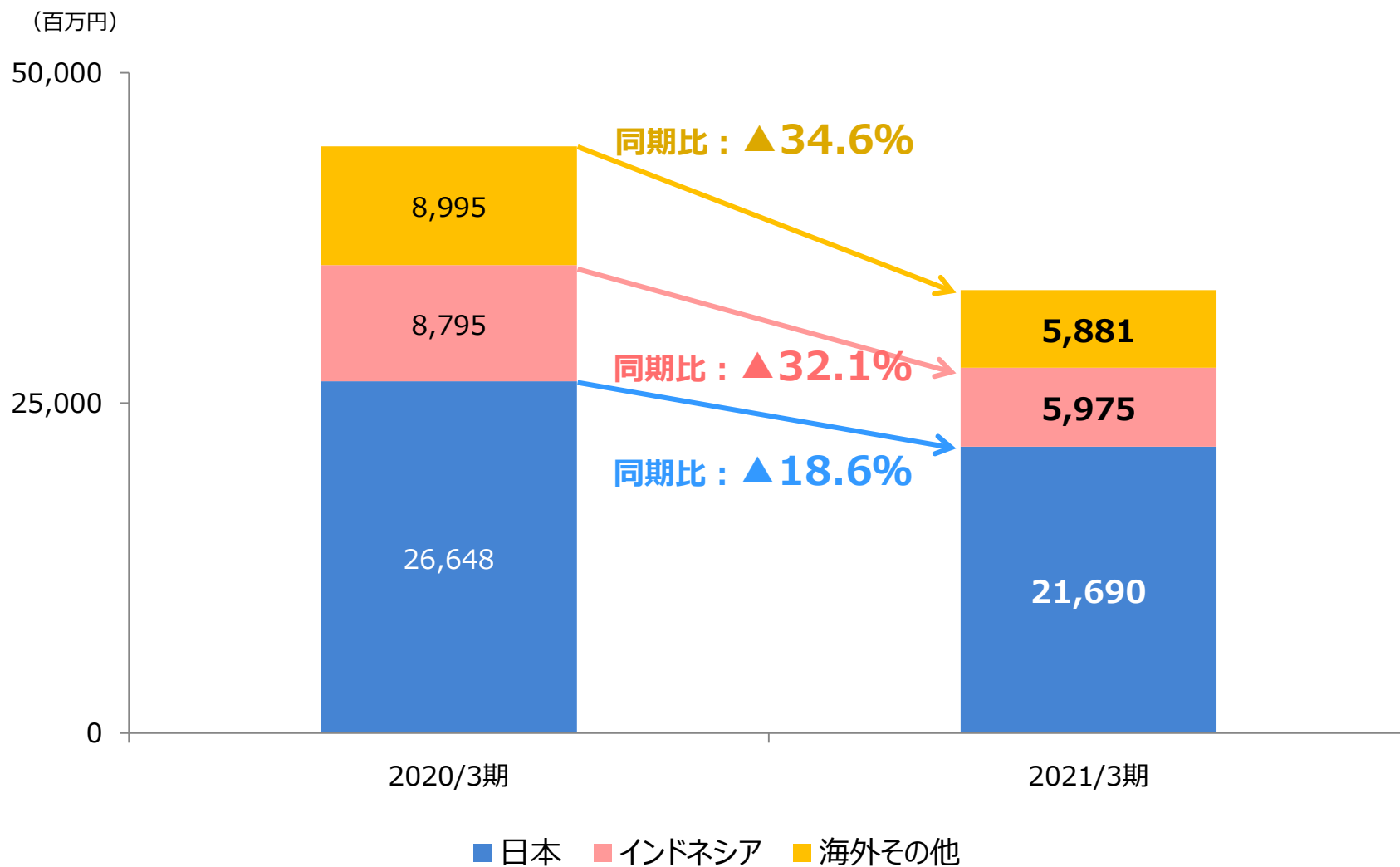
1) コロナ影響による大幅な減収減益

・売上減により粗利が大幅に減少



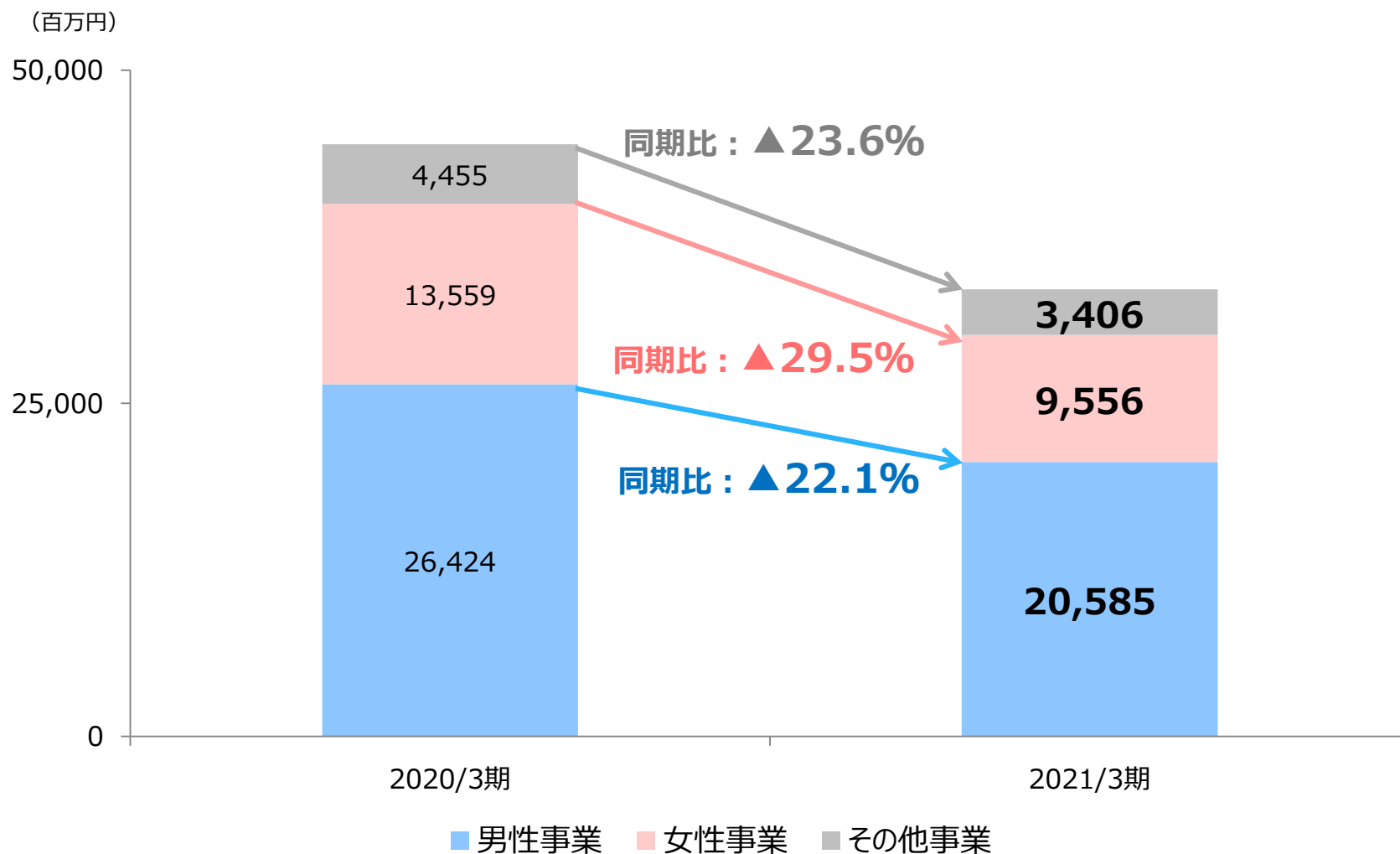
1. 2021年3月期 第2四半期決算 <所在地別売上高>

2) 国内外において、コロナの影響が大きく、減収



3) 男性事業・女性事業共に苦戦

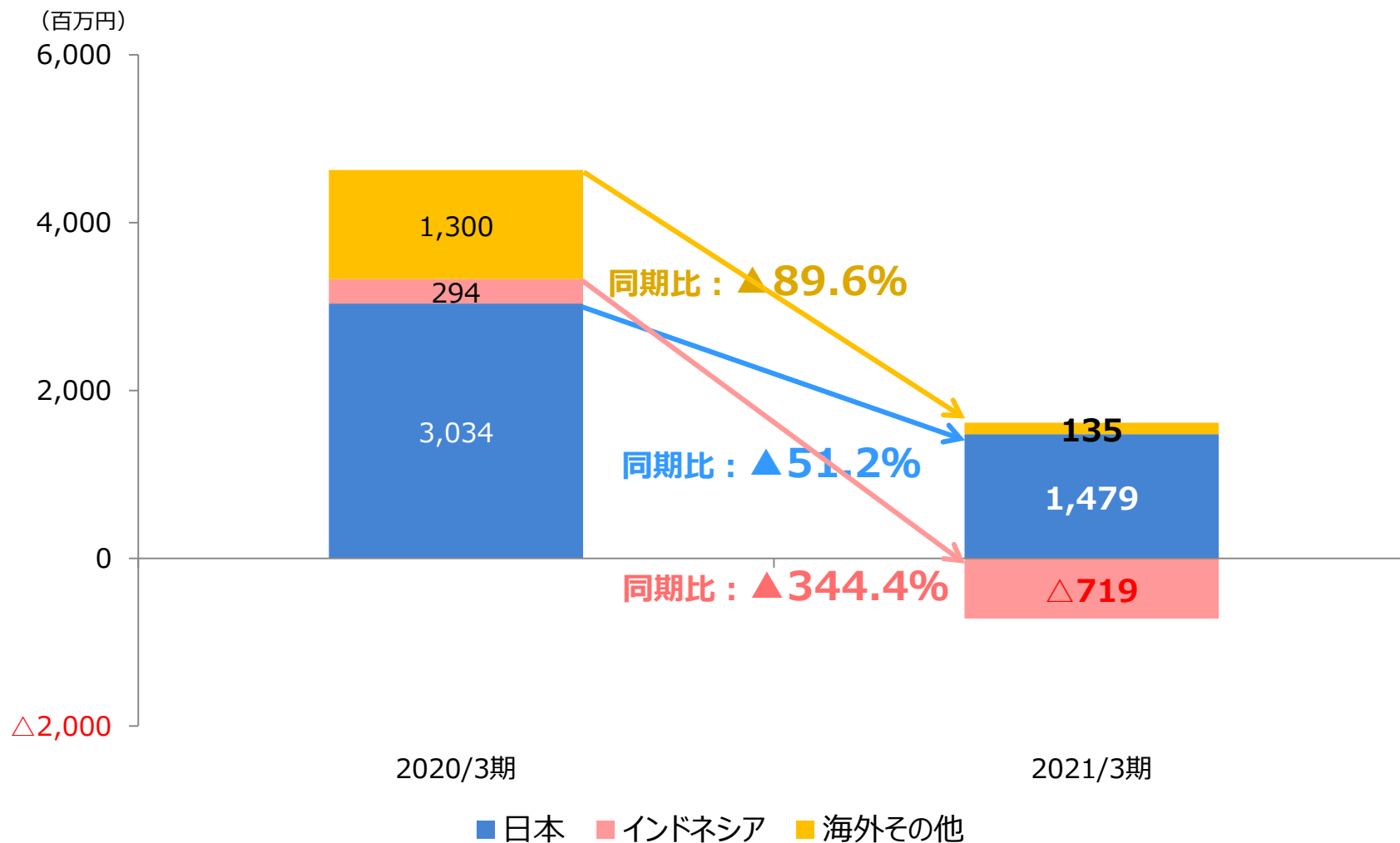
・スタイリング剤、クレンジング剤が大幅に低迷。



1. 2021年3月期 第2四半期決算 <所在地別営業利益>

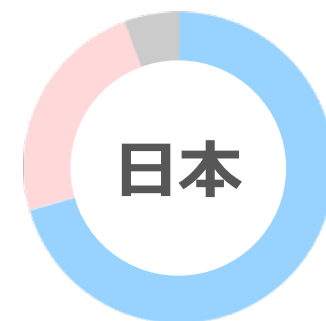
4) 売上高減の影響で、営業利益も大幅に減少

・日本・海外その他は、黒字を確保も、インドネシアは赤字転落




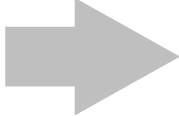

ブランド別事業推進状況

売上高事業別構成比



- ・ギャツビーが新型コロナウイルスの影響に加え、夏シーズン品が苦戦し、大幅に低迷。
- ・ビフェスタ、バリアリペアも低迷。

主要ブランドの状況

男性事業	女性事業
<p>GATSBY I'm all ready</p> 	<p>Bifesta ビフェスタ</p> 
<p>LÚCIDO</p> 	<p>Barrier Repair</p> 

1. 2021年3月期 第2四半期決算 <事業推進の概況（日本）>

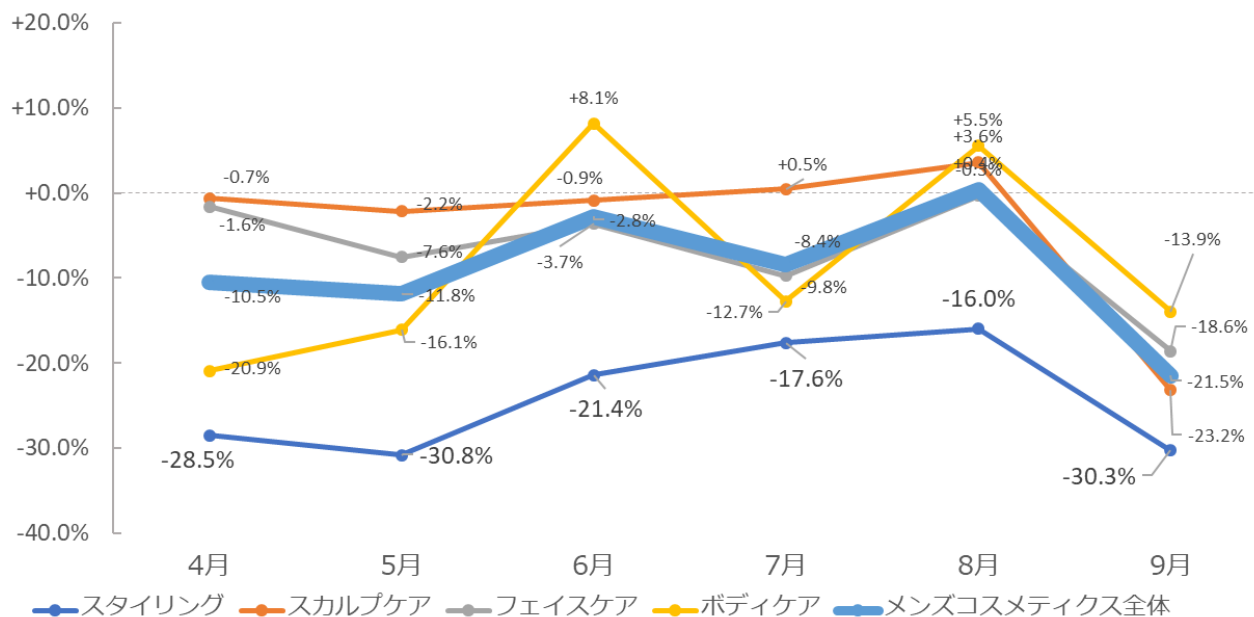
男性事業

売上高事業別構成比



- ・外出自粛やリモートワーク・オンライン授業等の増加による外出機会減少の影響を受け、整髪剤を中心に消費が大幅に低迷
- ・7月の記録的な長雨、低温の影響により夏シーズンが苦戦

■ 男性化粧品カテゴリー別市場 前年比動向(金額) 2020年4～9月 (マダム算出市場データ 業態:全業態)



男 性 事 業

売上高事業別構成比

LÚCIDO



- ・整髪剤は苦戦したものの、スキンケア・ボディケアは堅調に推移
- ・高機能スキンケアおよびメイク商品を追加し、
新たなケア行動を提案しスキンケア市場拡大を図る

■ アドバンスドケアシリーズ

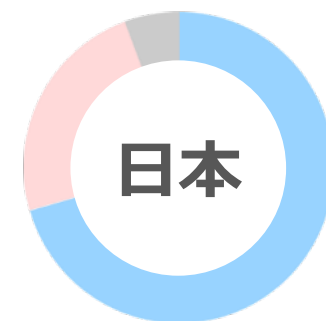


■ 薬用リンクルフォースクリーム 新CM



女性事業

売上高事業別構成比



- ・ギャツビー同様、外出機会の減少に伴うメイク機会の減少によりクレンジングシートを中心としたクレンジング剤が低迷。
- ・アイメイクアップリムーバーは、インバウンド減少の影響も大きく、大幅減。
- ・洗顔カテゴリー強化のため、新製品を追加

■ クレンジングシート



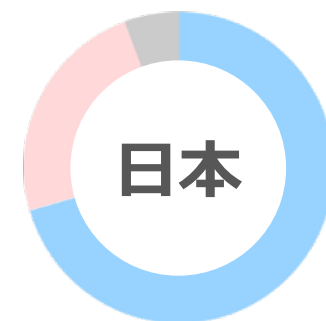
■ 新洗顔シリーズ



女性事業

売上高事業別構成比

LÚCIDO-L



- ・整髪剤は低迷したものの、ヘアオイルを中心としたヘアケアカテゴリーは前年を割ることなく、堅調に推移
- ・今秋、新たにアウトバストリートメントを追加し、ヘアケアカテゴリーを強化

■ オイルトリートメントシリーズ



■ オイルトリートメント #EXヘアマスク

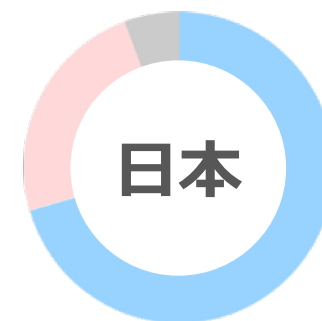


そ の 他

売上高事業別構成比

【インバウンド】

- ・訪日観光客による売り上げは、ほぼなかったものの
在日ブローカーや越境ECの売上により、売上は月平均約1億円



【除菌商材】

- ・6月以降、除菌シリーズを順次発売し、今後も販売を継続。

■ マンダム 除菌シリーズ



1. 2021年3月期 第2四半期決算 <事業推進の概況（日本）>

そ の 他

売上高事業別構成比

【EC】

- ・ECチャネル向けに、売れ筋商品の増量品などをEC専用商品として提供するなど、取組を強化

■ EC専用商品



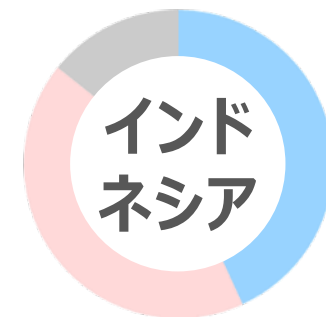
- ・自社EC限定スキンケアブランド「M4」より、シート状美容液「ダイレクトセンサーパッチ」を発売

■ エムフォー ダイレクトセンサーパッチ






ブランド別事業推進状況

売上高事業別構成比



- ・ジャカルタで大規模社会制限が発令されるなど
コロナの深刻な感染拡大を受け、全ブランド大幅低迷

主要ブランドの状況（連結ベース）

男性事業	女性事業
	
	

男性事業

GATSBY

I'm all ready

売上高事業別構成比



- ・ヘアスタイリングが全体的に不調
- ・「スタイリングポマード」は、新製品追加や既存品のリニューアルを実施

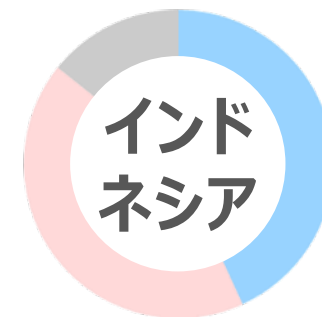
■ スタイリングポマード



女性事業

売上高事業別構成比

PIXY
My Beauty, My Energy



・メイクアップ、スキンケア共に大きく低迷。

生活者の除菌意識の高まりに対し、保湿力のあるスキンケア発想のハンドサニタイザーを追加。
コロナにより発売を延期していた新製品ファンデーションを発売。

■ ハンドサニタイザー



■ リキッドファンデーション



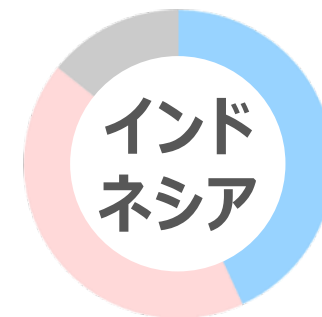
1. 2021年3月期 第2四半期決算 <事業推進の概況（インドネシア）>

補 足

売上高事業別構成比

【直近業績】

PT Mandom Indonesia Tbk 3Q業績（現地P/L）



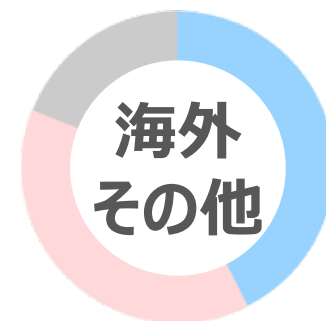
（単位：百万Rp.）

	2021/3期	2020/3期	同期比
売上高	1,470,417	2,166,886	67.9%
営業利益	▲85,403	164,455	—
四半期純利益	▲75,387	134,339	—

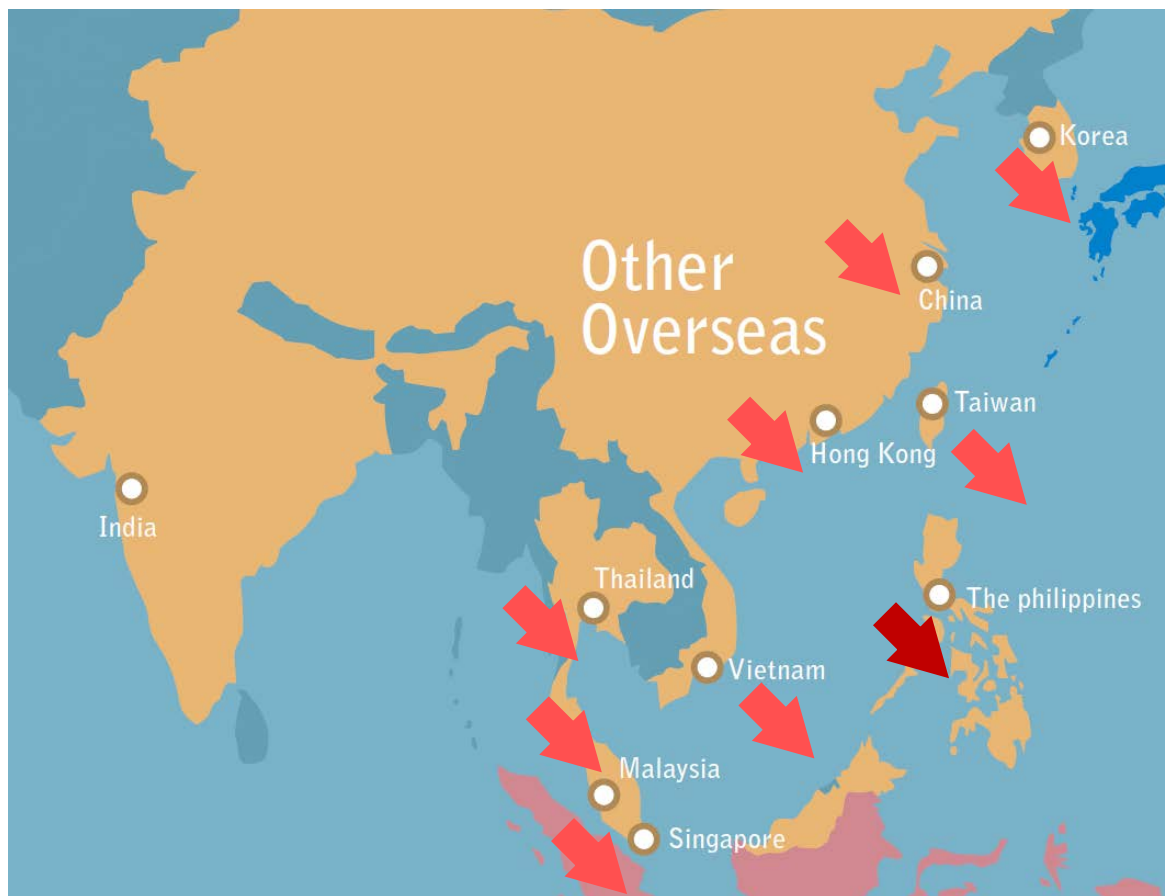
- ・9月14日にジャカルタにて再度発令された大規模社会制限令は、10月12日より緩和。経済活動も制限緩和されたものの、依然感染者は増加しており、先行きは不透明。

事業推進状況

売上高事業別構成比



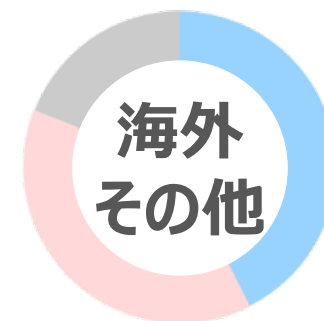
- ・全エリアにおいて、大幅に低迷。
- ・東南アジア各国は、依然先行き不透明。



男 性 事 業



売上高事業別構成比



- ・中国や台湾をはじめとした海外各国において、
ギャツビー フェイシャルペーパーをはじめとしたペーパー商材の店頭展開を強化。

■ペーパー商材 海外店頭展開



売上高事業別構成比

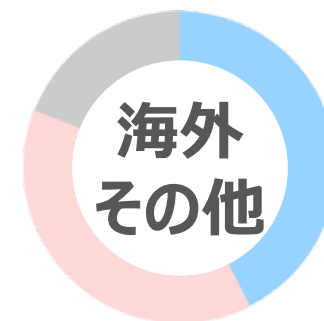
【中国】

GATSBY
I'm all ready

- ジェルワックスについて、TikTokを活用し、PR動画からダイレクトにTmall EC旗艦店へ誘引する施策を実施。販売数量が前月比2倍以上となり、旗艦店でもギャツビーNo.1商品に。

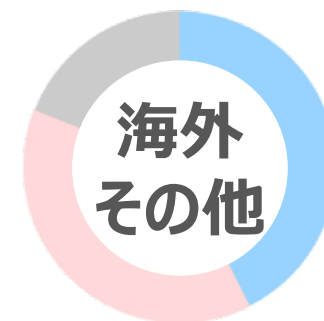
Bifesta
ビフェスタ

- アイメイクアップリムーバーについて、Watsons ECとコラボし、ライブコマースを活用した販促施策を実施。当日は準備した20,000セット(計40,000本)が完売となるなど好調。



補 足

売上高事業別構成比



■ 海外各国コロナ影響状況

エリア	業績への影響
東アジア	感染については収束しており、 業績への影響については、1Qを底に、2Q以降徐々に回復。 ※香港は情勢不安により、2Q以降も厳しい状況
インドネシア・フィリピン	感染については、依然拡大傾向にあり、 業績への影響についても、3Q以降も引き続き厳しく、 先行き不透明。
その他東南アジア (インドネシア・フィリピン除く)	感染については、拡大が一進一退の状況であり、 業績への影響については、2Qが底ではあるものの、 3Q以降の回復状況は厳しく、不透明な状況。

2. 2021年3月期 通期業績予想

2. 2021年3月期 通期業績予想

1)2021年3月期 通期の連結業績予想を下方修正

(単位：百万円)

	上期実績			下期見通				通期見通		
	実績	計画	乖離額	修正見通	当初計画	乖離額	同期比	修正見通	当初計画	乖離額
売上高	33,548	33,000	+548	30,451	32,000	▲1,548	81.6%	64,000	65,000	▲1,000
営業利益	895	400	+495	▲1,695	1,100	▲2,795	—	▲800	1,500	▲2,300
経常利益	1,205	750	+455	▲1,555	1,200	▲2,755	—	▲350	1,950	▲2,300
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,136	450	+1,686	▲1,466	750	▲2,216	—	670	1,200	▲530

*通期見通から上半期実績を除いた数値

2. 2021年3月期 通期業績予想

1)2021年3月期 通期の連結業績予想を下方修正

- ・国内外において、売上回復が厳しい。

【下期見通し与件】

■売上高

- －) ・国内外における化粧品需要低迷からの鈍い回復状況
 - ・インドネシアをはじめとした東南アジアにおけるコロナ影響の拡大と長期化
- ±) ・新製品の市場動向

■営業利益

- －) ・売上減少に伴う売上総利益の減少
 - ・生産数量減少に伴う生産効率の低下
 - ・福崎工場新生産棟稼働の前倒しに伴う減価償却費の増加
 - ・来期の売上拡大に向けたA&P費の投下

現状課題

- 強みである領域がCOVID-19状況下で売上減少要因に
【商品カテゴリー】 ヘアスタイリング剤、クレンジング剤
【展開エリア】 東南アジア
- 主要ブランド「ギャツビー」のブランド・アクティビティ低迷
- 女性成長エンジン「ビフェスタ」の停滞
- 基盤整備のための先行投資に対し、

売上乖離による利益が出にくい収益構造

福崎工場新生産棟建設

- ・建屋は8月末に完成し、現状生産設備等施工段階。

一部工事を来期に延期するも、生産稼働については、予定を前倒し2020年12月より開始。

■現状外観



本格除菌市場参入

- ・産官学民共同で、社会への普及と更なる応用技術の開発を目指している次世代の画期的な除菌剤「MA-T」の取り組みに、当社も参画。
- ・11月発売予定の「MA-T Pure」の発売を皮切りに、今後アイテムを順次拡大予定


■ MA-T Pure 除菌・消臭スプレー



働き方改革の推進

- 10月1日より下記取り組みを実施
 - ・ 在宅勤務対象者の拡大と
取得回数制限の撤廃
 - ・ フレックスタイム制におけるコアタイムの撤廃
 - ・ 通勤手当の支給方法の変更
(定期券購入費用支給から実費支給へ)
 - ・ 在宅勤務手当の支給 (1日あたり300円)

株式会社マダム
2020年10月1日

News Release 

マダム、2020年10月1日より 在宅勤務手当支給などの取り組みを実施 With コロナ時代の新しい働き方を推進

株式会社マダム(本社:大阪市, 社長執行役員:西村元延 以下マダム)は、「個と会社のHAPPYの実現を目指し」という考えの下、全社員が活躍でき、より働き甲斐のある職場づくりのために、制度整備や職場風土の醸成に取り組んでいます。リモートワークを最大限に活用できる環境整備を行うため、2020年10月1日(木)より在宅勤務手当支給などの新たな取り組みを実施いたします。

新型コロナウイルス感染防止策として、2020年3月から社員の健康と安全確保を第一に、それまでは一部にとどまっていた在宅勤務の対象者を拡大、また、フレックスタイム制のコアタイムをなくすなどの対応を行い、現在も継続実施しております。社内ヒアリングでは「ワークライフバランスが良好」「通勤での疲労感がなく、その分業務に集中できた」「リモートワークでも想像以上に業務を実施できる」などの声が寄せられています。

これらの取り組みを一過性の対応にとどめず、新しい働き方を加速させる機会と捉え、2020年10月1日(木)より下記取り組みを実施いたします。


- (1) 在宅勤務対象者の拡大と取得回数制限の撤廃
- (2) フレックスタイム制におけるコアタイムの撤廃
- (3) 通勤手当の支給方法の変更(定期券購入費用支給から実費支給へ)
- (4) 在宅勤務手当の支給(1日あたり300円)

個と会社の成長のためにはリモートワークやフレックスタイムなどの時間の有効活用ができる環境を最大限に活かし、社員一人一人が自律性を持って、生産性の高い働き方をしていることが一層重要になっています。マダムでは、今後も「生産性・創造性・働き甲斐」を向上させる「新しい働き方」をさらに推進してまいります。

■新導入制度詳細について
(1) 在宅勤務対象者の拡大と取得回数制限の撤廃
【概要】
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現在、在宅勤務の対象者・回数を拡大していますが、規定上の対象者は正社員かつ育児勤務者や介護勤務者など一部の社員にとどまっております。取得回数も月5回が上限でした。今回より、雇用形態や

この件に関するお問い合わせ先

株式会社マダム 広報部	● 大阪本社 ● 青山オフィス ● プレスメール	奥田/栗山/酒井/佐藤実優/佐藤美幸 下川/森原/木村/茂/上水(仮)/ press@mandom.com	TEL 06-6767-5021 FAX 06-6767-5045 TEL 03-5766-2485 FAX 03-5766-2486
----------------	--------------------------------	---	--

■マダム web サイト
<https://www.mandom.co.jp> 

主要ブランドの再生

- ・コロナ危機を経験した生活者の生活行動や価値観の変化を踏まえ、特に苦戦するギャツビーおよびビフェスタについて、商品およびコミュニケーションの大幅な刷新を今期中に予定。

GATSBY
— I'm all ready —

Bifesta
ビフェスタ

2021年3月期第2四半期 決算説明会 参考資料

2020年4月1日～2020年9月30日

株式会社マンドム
(証券コード 4917)

目次

1. 2021年3月期 第2四半期 連結業績概要
 2. 連結売上高
 3. 連結段階利益
 4. 2021年3月期 業績予想
- ◆ 参考資料

1. 2020年3月期 第2四半期 連結業績概要

(単位：百万円)

	第 2 四 半 期					計画比
	2021/3期	2020/3期	増減額	同期比	前期レート 換算比	
売上高	33,548	44,439	▲ 10,891	75.5%	76.3%	101.7%
営業利益	895	4,628	▲ 3,733	19.4%	—	223.9%
経常利益	1,205	5,107	▲ 3,901	23.6%	—	160.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,136	3,276	▲ 1,139	65.2%	—	474.9%

EPS	47.62円	71.05円
-----	--------	--------

2. 連結売上高

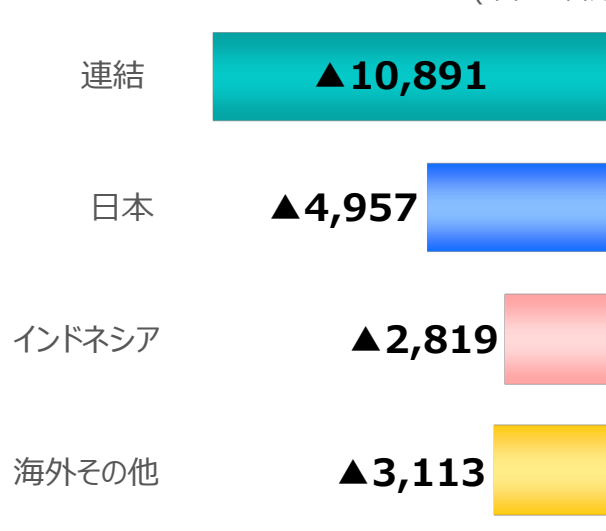
2-1.所在地別売上高

(単位：百万円)

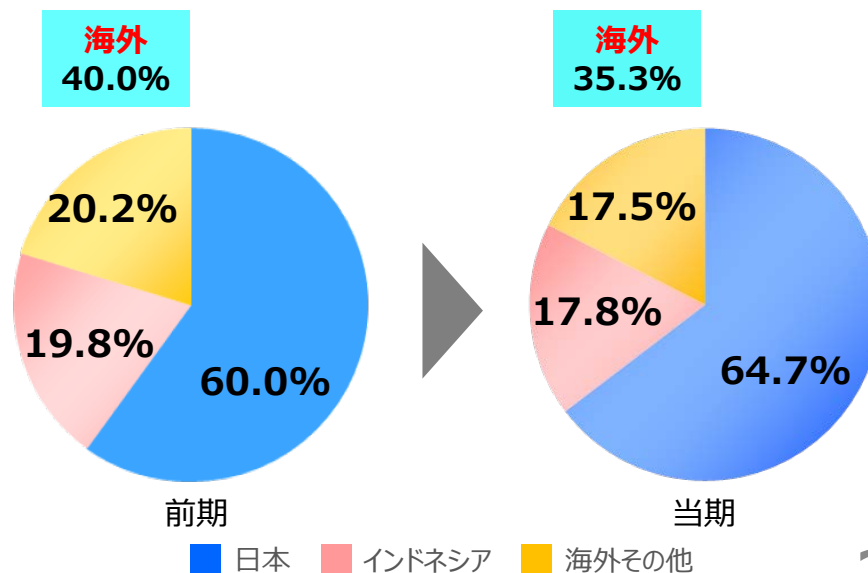
	第 2 四 半 期			
	2021/3期	2020/3期	増減額	同期比
売上高	33,548	44,439	▲ 10,891	75.5%
日本	21,690	26,648	▲ 4,957	81.4%
インドネシア	5,975	8,795	▲ 2,819	67.9%
海外その他	5,881	8,995	▲ 3,113	65.4%

2-2.所在地別売上高 同期増減額内訳

(単位：百万円)



2-3.所在地別売上高 同期構成比推移



2. 連結売上高

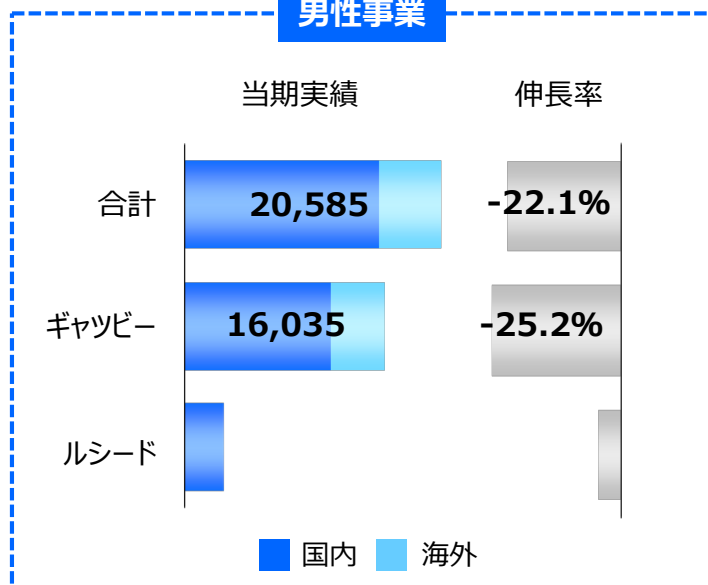
2-4. 事業別売上高

(単位：百万円)

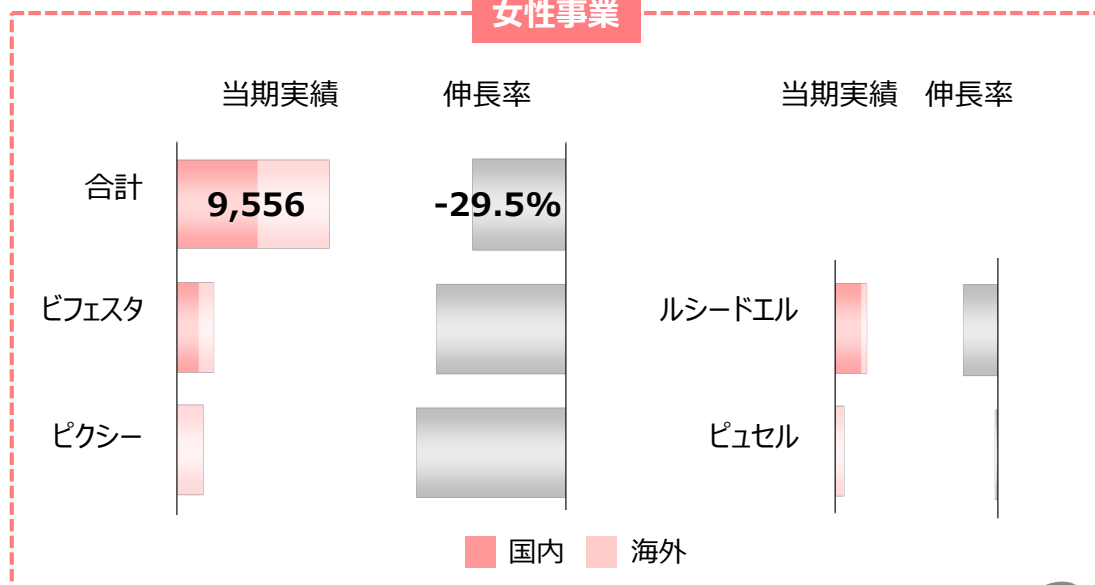
	第 2 四 半 期			
	2021/3期	2020/3期	増減額	同期比
売上高	33,548	44,439	▲ 10,891	75.5%
男性事業	20,585	26,424	▲ 5,839	77.9%
ギャツビー	16,034	21,428	▲ 5,393	74.8%
女性事業	9,556	13,559	▲ 4,002	70.5%
その他事業	3,406	4,455	▲ 1,049	76.4%

※女性事業内訳：女性コスメック4,910百万円（同期比54.9%）/女性コスメタリ-4,646百万円（同期比100.8%）

男性事業



女性事業



3. 連結段階利益

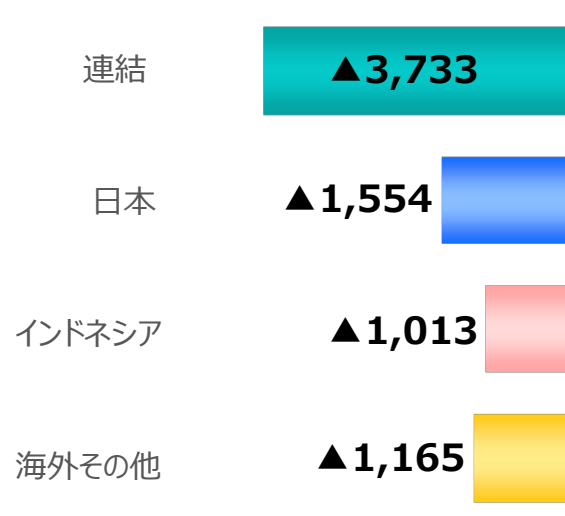
3-1. 所在地別営業利益

(単位：百万円)

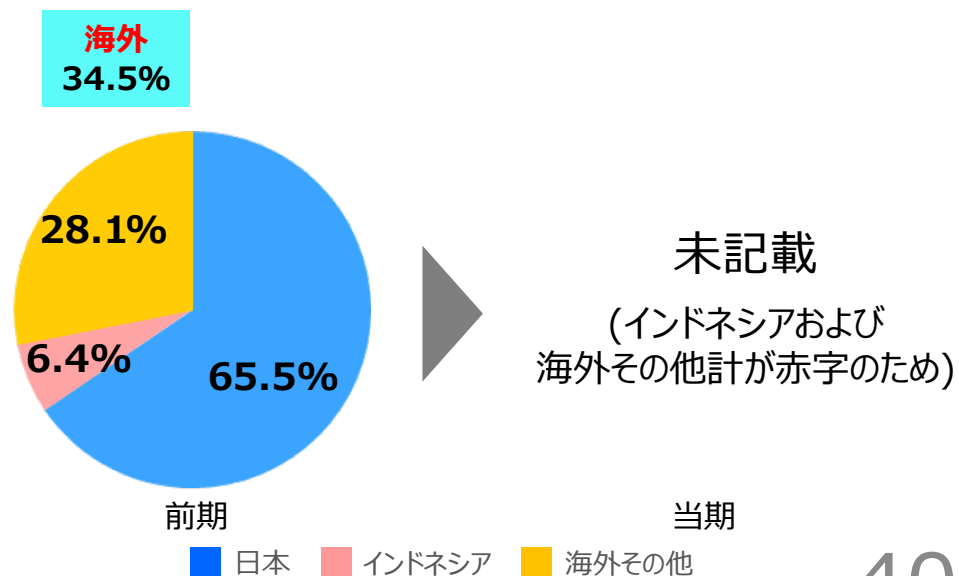
	第 2 四 半 期					
	2021/3期		2020/3期		増減額	同期比
	実績	対売上高	実績	対売上高		
営業利益	895	2.7%	4,628	10.4%	▲ 3,733	19.4%
日本	1,479	6.8%	3,034	11.4%	▲ 1,554	48.8%
インドネシア	▲ 719	▲12.0%	294	3.3%	▲ 1,013	▲244.4%
海外その他	135	2.3%	1,300	14.5%	▲ 1,165	10.4%

3-2. 所在地別営業利益 同期増減額内訳

(単位：百万円)

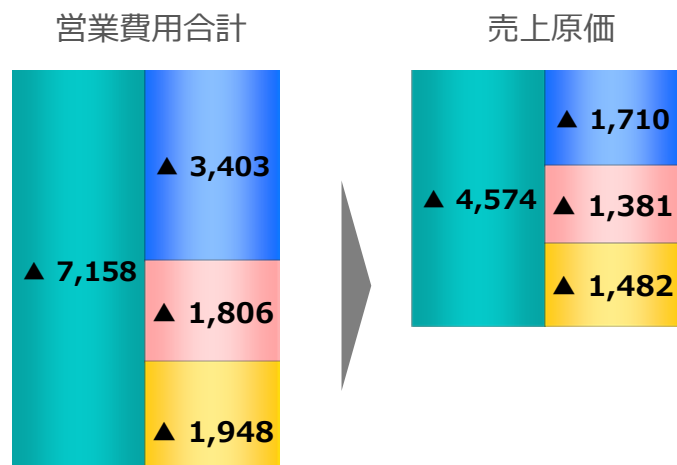


3-3. 所在地別営業利益 同期構成比推移

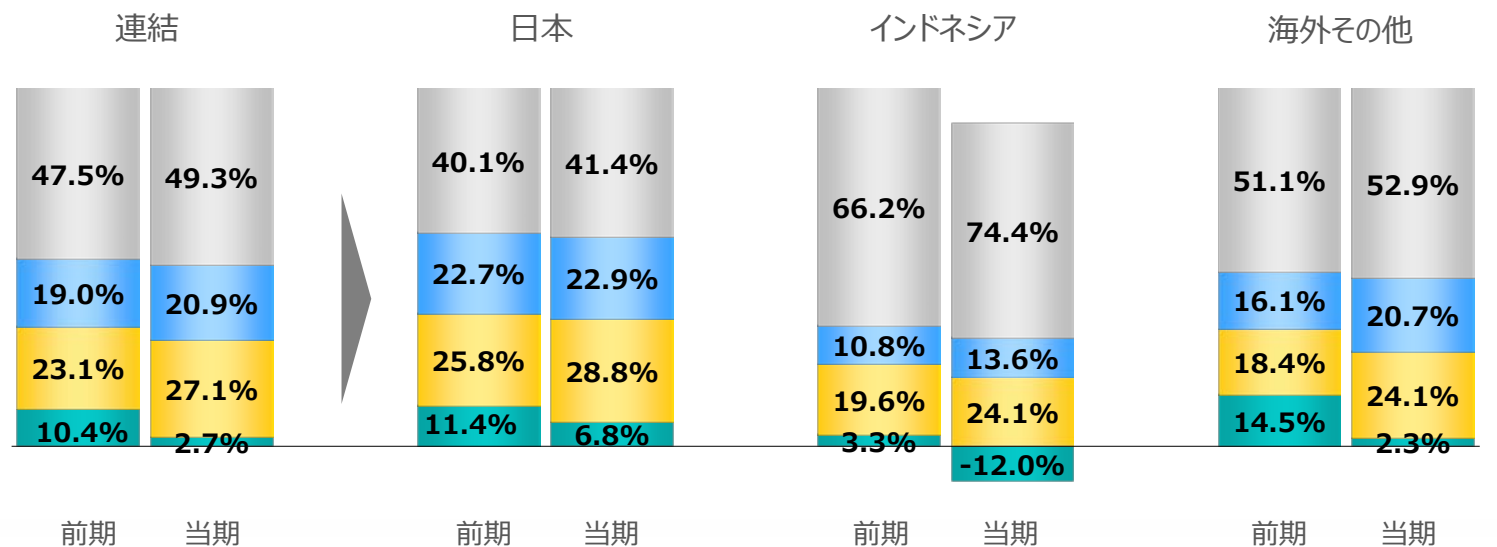


3. 連結段階利益

3-4. 営業費用実績 同期増減額内訳

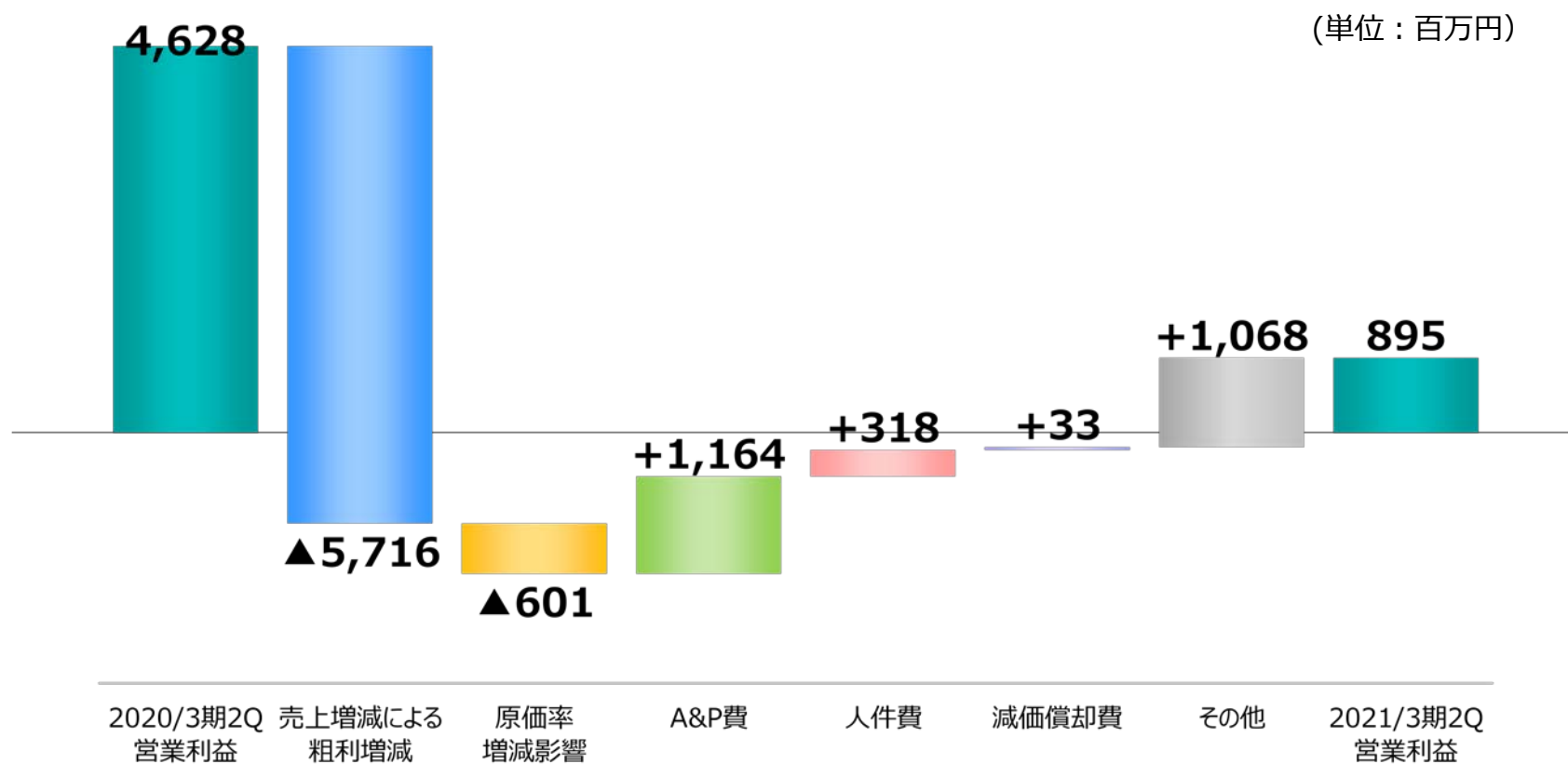


3-5. 営業費用・営業利益 対売上高比率内訳



3. 連結段階利益

3-6. 営業利益増減分析



3. 連結段階利益

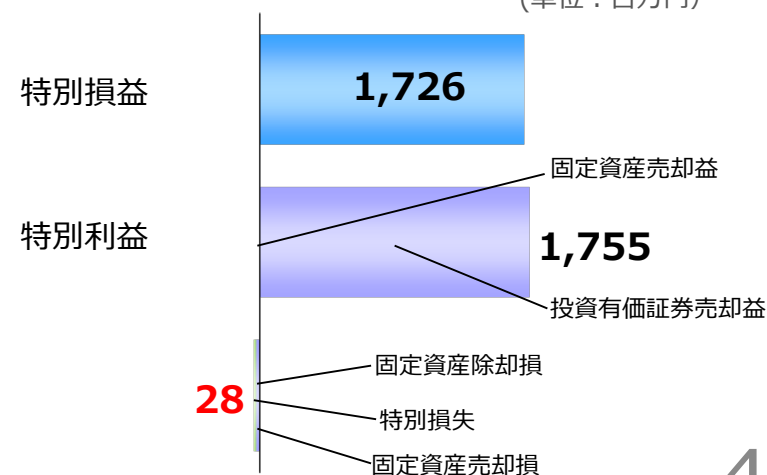
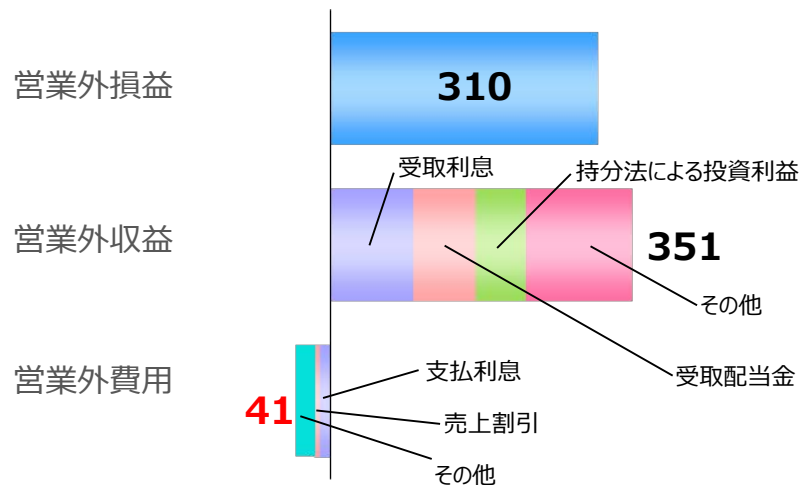
3-6. 経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

(単位：百万円)

	第 2 四 半 期					
	2021/3期		2020/3期		増減額	同期比
	実績	対売上高	実績	対売上高		
営業外損益	310	0.9%	478	1.1%	▲ 168	64.8%
経常利益	1,205	3.6%	5,107	11.5%	▲ 3,901	23.6%
特別損益	1,726	5.1%	91	0.2%	1,635	1897.2%
税引前純利益	2,932	8.7%	5,198	11.7%	▲ 2,265	56.4%
法人税等	950	2.8%	1,751	3.9%	▲ 800	54.3%
四半期純利益	1,981	5.9%	3,446	7.8%	▲ 1,464	57.5%
非支配株主に帰属する四半期純利益	▲ 155	▲0.5%	170	0.4%	▲ 325	▲91.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,136	6.4%	3,276	7.4%	▲ 1,139	65.2%

3-7. 営業外損益・特別損益内訳

(単位：百万円)



4. 2021年3月期 業績予想

2021年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	2021/3期						2020/3期	
	通期			第2四半期			実績	
	業績予想	増減額	同期比	実績	増減額	同期比	通期	第2四半期
売上高	64,000	▲17,774	78.3%	33,548	▲10,891	75.5%	81,774	44,439
営業利益	▲800	▲6,770	—	895	▲3,733	19.4%	5,970	4,628
経常利益	▲350	▲7,056	—	1,205	▲3,901	23.6%	6,706	5,107
親会社株主に帰属する 四半期純利益	670	▲3,775	15.1%	2,136	▲1,139	65.2%	4,445	3,276

2021/3月期第2四半期 Mandom単体及びPT Mandom Indonesia Tbk 損益計算書

株式会社マダム

(単位：百万円)

	2021/3期	2020/3期	増減額	同期比	2021/3期 業績予想
売上高	23,102	28,769	▲ 5,666	80.3%	42,000
売上原価	10,357	12,926	▲ 2,569	80.1%	-
(原価率)	44.8%	44.9%	-0.1P	-	-
販売費及び一般管理費	11,047	12,696	▲ 1,648	87.0%	-
営業利益	1,698	3,147	▲ 1,448	54.0%	-
営業外損益	538	520	18	103.6%	-
経常利益	2,236	3,667	▲ 1,430	61.0%	700
特別損益	1,727	80	1,646	2136.2%	-
四半期純利益	3,041	2,736	305	111.2%	1,700

減価償却実施額・設備投資額

連結

(単位：百万円)

	2021/3期	2020/3期	増減額	2021/3期 通期予想
減価償却実施額	2,093	2,118	▲ 25	4,570
設備投資額	6,231	4,976	1,255	10,200

株式会社マダム(単体)

(単位：百万円)

	2021/3期	2020/3期	増減額
減価償却実施額	1,131	1,204	▲ 73
設備投資額	5,805	4,104	1,700

※設備投資額には無形固定資産を含む

PT Mandom Indonesia Tbk

現地通貨

(単位：百万Rp.)

	2021/3期	2020/3期	増減額	同期比
売上高	996,776	1,411,193	▲ 414,416	70.6%
売上原価	753,077	930,610	▲ 177,532	80.9%
(原価率)	75.6%	65.9%	+9.6P	-
営業利益	▲ 56,663	113,510	▲ 170,173	-49.9%
四半期純利益	▲ 52,904	94,714	▲ 147,618	-55.9%

円換算

(単位：百万円)

	2021/3期	2020/3期	増減額	同期比
売上高	7,475	10,866	▲ 3,390	68.8%
売上原価	5,648	7,165	▲ 1,517	78.8%
原価率	75.6%	65.9%	+9.6P	-
営業利益	▲ 424	874	▲ 1,299	-48.6%
四半期純利益	▲ 396	729	▲ 1,126	-54.4%

Rp.1 = ¥ 0.0075 Rp.1 = ¥ 0.0077

この資料に記載されている株式会社マダム(以下、当社)の現在の計画、戦略、確信などのうち、過去の事実以外のものは当社の将来の業績に関する見通しの記述であり、現在入手可能な情報に基づく経営陣の仮定と確信に基づくものであります。これらの将来見通しの記述は、既に知られているリスク、知られていないリスクや不確かさ、その他の要因などを含み、当社の実際の経営成績、業績などはこの資料に記載した見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

※記載金額は単位未満を切り捨てております

